

平成30年度

「管内研修センター等連携」研修講座

カリキュラム・マネジメント

ねらい

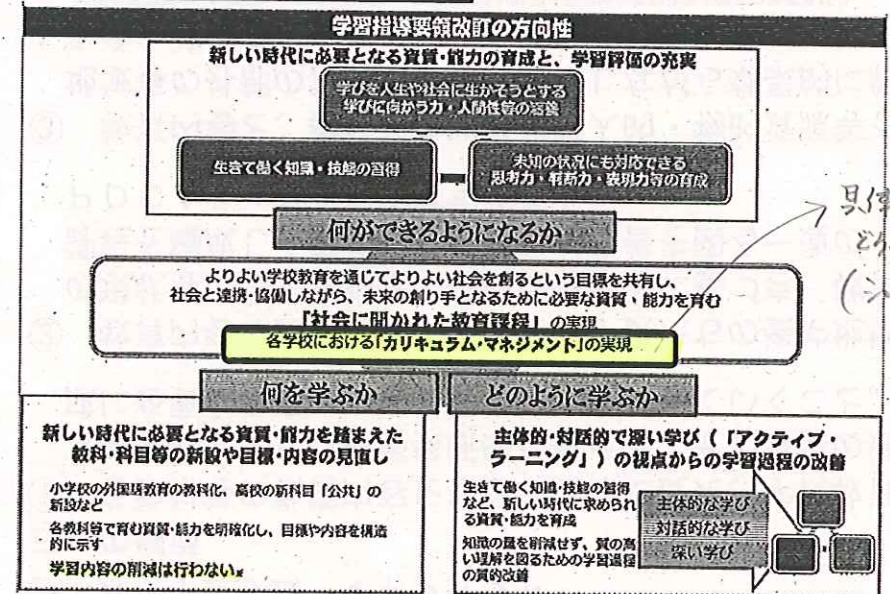
カリキュラム・マネジメントに係る講義や協議、演習を通して、カリキュラム・マネジメントの充実を図るに当たり、自分や学校の課題を解決するためのヒントを見付ける。

内容

- 1 講義「カリキュラム・マネジメントの考え方と実際」
- 2 演習「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化」
- 3 演習・協議「カリキュラム・マネジメントの充実」
- 4 まとめ

1 カリキュラム・マネジメントの考え方と実際

1 カリキュラム・マネジメントの考え方と実際



○ カリキュラム・マネジメント

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

小（中）学校学習指導要領（平成29年3月 文部科学省）より作成 *総則*

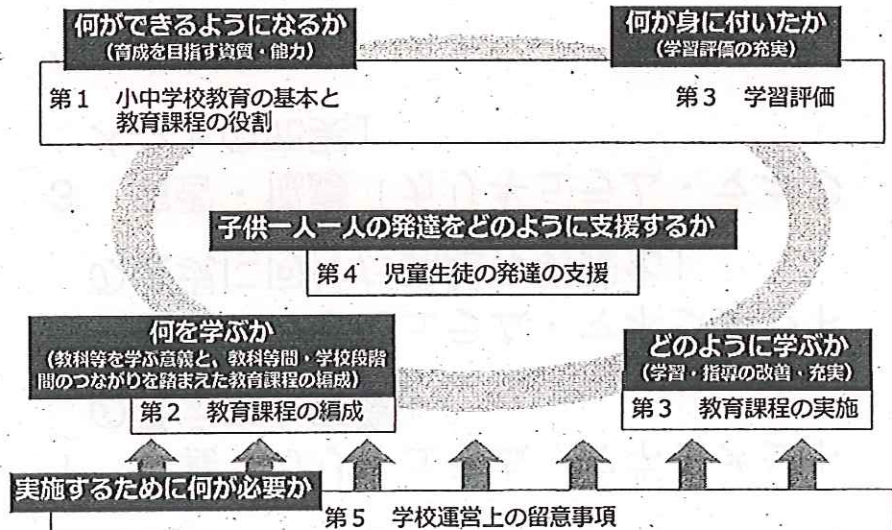
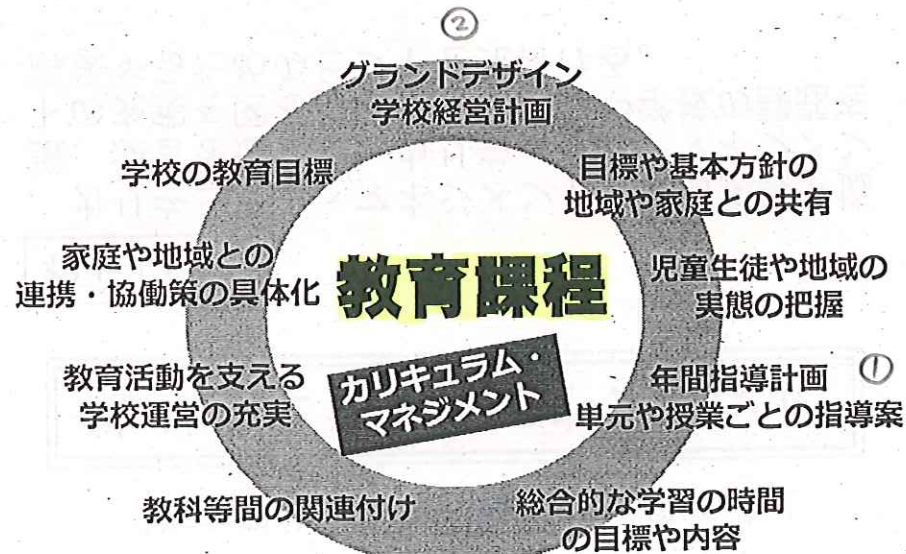
○ カリキュラム・マネジメント

三つの側面

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

中央教育審議会 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）平成28年12月21日より作成

*これから大抵のことがわかる
これを重視されてきたもの*



「第6 道徳教育に関する配慮事項」は、複数の項目にかかわる。

2 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化

★ / 人だけでは、
皆でやっつくことが大切!!

2 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた課題の明確化

○ 協議の流れの説明

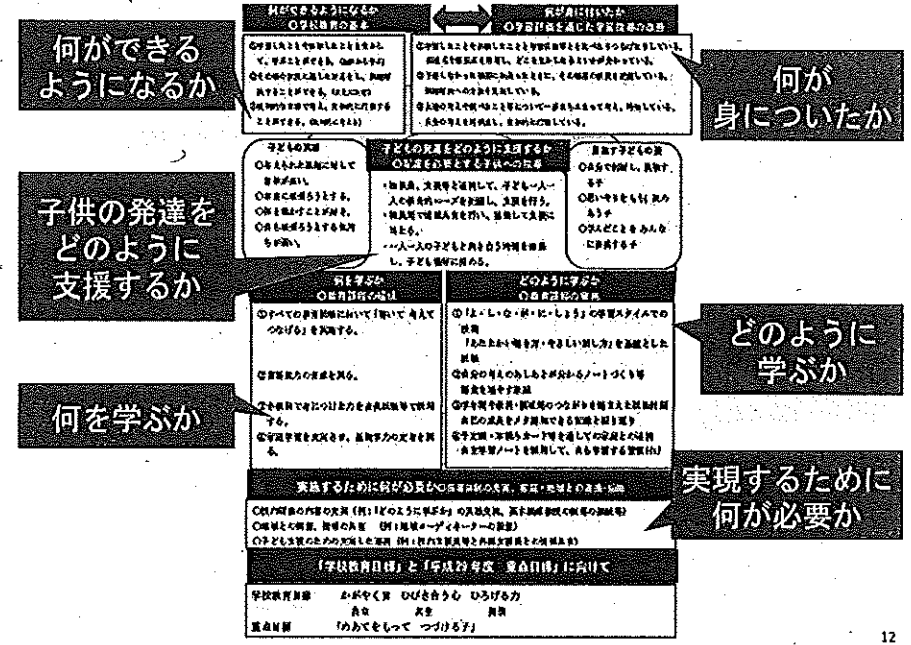
カリキュラム・マネジメントの実現に向け、自校や自身の取組状況についてワークシートに記入し、その内容を中心とした交流を通して、課題の明確化を図る。

【時間】

- ワークシートの記入 (2分)
- 記入内容の交流 (5分)
- 課題の記入 (5分)

3 カリキュラム・マネジメントの充実

グランドデザインの構想例



大切にしてほしいこと

◎ カリマネを学ぶだけでなく
グランドデザインを作成する

目的の明確化

学校全体として、カリキュラム・マネジメントを確立し、各学校の教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図る。

○ 演習・協議の流れの説明

<協議題>

目指す子どもの姿を実現するための教育課程をどのように編成・実施すべきか。

【流れ】

- ①グループ演習・協議(50分) ※4人程度
- ②全体交流①(5分)
- ③全体交流②(15分)
- ④まとめ(5分)

<グループ演習・協議の進め方>

子どもの実態

- ・ 友達の考えに対して自分の考えをもてる子どもが3割程度
- ・ 自分には良いところがあると思っている子どもは3割程度
- ・ 物事を最後までやり遂げることができる子どもが多い

目指す子どもの姿

- ・ ほかの人の話の内容と自分の考えを結び付ける
- ・ 自分やほかの人のよいところを進んで見付ける
- ・ 良い行動を考え、進んで取り組む

<グループ演習・協議の進め方>

- (1) 教育課程をどのように編成・実施するかを検討(演習シートを活用)
 - ・ 視点1 何ができるようになるか。
 - ・ 視点2 何を学ぶか。
 - ・ 視点3 どのように学ぶか。
 - ・ 視点4 子ども一人一人の発達をどのように支援するか。
- (2) 検討した視点1~4の具体を、目指す子どもの姿を実現するためのグランドデザインに係る資料として演習シートをA3に拡大した用紙に整理

<全体交流①・②の進め方>

- 全体交流① (5分)
 - ・各グループが作成した演習シートをA3に拡大した用紙を机の上に置き、全員が自由に移動して見て回る。
 - ・発表を聞きたいと思うグループの用紙に付箋を貼る。
- 全体交流② (15分)
 - ・付箋を多く貼られたグループがそれぞれ5分以内で発表する。

○ どの様に学ぶか → 非常に具体的
 ○ 何を学ぶか (関連性有り)

経営参画意識 = 組織化

質疑応答

- ・ グラフデザイン ~ (フタバ) 周知する意味。グラフデザイン (夏有) 心く
 ため。一歩進めたい
 のが有効。
 ↓
 グラフデザインが 経営計画や 構造的の
 中に入るといい。可視化して
 発表が入るといい。OK!!
 → わかりやすく可視化して伝えることの
- ・ 全体的に (一部) 全体共有の大事。

課題 Q3. 14 (C) = 教科等横断的な視点
 Q6. 12 (C) = 研究の充実 (カリキュラム・マネジメントの観点)
 (新カリが強い)
 ↓
 全道の71の課題

4 まとめ

◎ 人的物的資源の確保改善 → 地域に良いバラックあり

平成30年度
 「管内研修センター等連携」研修講座

カリキュラム・マネジメント